

ご購入にあたって

日本屋外収納ユニット工業会ホームページ内の「ご購入にあたって」も併せてご覧ください。
<https://www.nihon-okugaisyunou-unit-kougyoukai.jp/>

1 保証について

全製品に5年間(ダストボックス・ミニは2年間)の保証がついています。但し、2年を超えて発生した下記の場合の修理は有料となります。

- ・塗装の剥離、サビ
- ・電装部品の不具合

保証内容の詳細は製品保証書をご確認ください。

2 価格及び仕様について

価格は全て税抜価格となっています。カタログの記載内容(価格及び仕様等)は、2024年1月現在のものです。価格や仕様は予告なく変更する場合があります。

3 掲載写真(色調・寸法・小道具)について

- ・印刷によって各製品のカラー写真などの色調が実際の商品と多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・全ての寸法は製品寸法で基礎寸法は含みません。
- ・製品以外のブロックや基礎、土間、換気扇、小道具等はイメージです。

4 商品選定について

- ・商品ごとの機能や特徴の違いをご確認ください。
- ・設置場所に余裕がある場合は大きめのサイズをおすすめします。
- ・カラーの検討も製品と同時に検討ください。
- ・機種によっては特注サイズができます。製造の可否、価格、納期は販売店にご確認ください。

5 オプション品について

- ・オプション品は本体と同時購入が割安です。本体組立後の取付けは取付け費が別途かかります。
- ・本体組立後に取付けのできないオプションもありますのでご確認ください。

6 標準組立費について

本体組立に掛かる費用の目安です。運賃・基礎工事費・転倒防止工事費・ブロック代・特殊工事費・オプション取付け費等は含みません。

7 確認申請について

建築基準法の規定により建築確認申請の手続きが必要な場合があります。また、用途地域により様々な制限を受けますので、ご購入前に各市町村の建築課にご相談ください。

8 ご自分で組立てる場合

- ・作業用手袋や長袖等安全な服装で行ってください。
- ・必要な工具をあらかじめ確認し、組立説明書の手順に従って転倒防止工事まで行ってください。
- ・電気配線が必要な場合は専門家による電気工事が必要です。
- ・長尺物や重量物の組立ては2人以上で行ってください。

9 製品の特性について

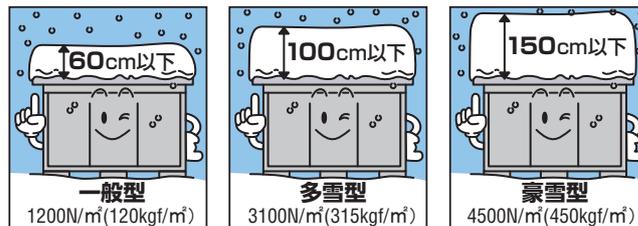
- ・設置現場で組み立てる製品の特性上、多少の隙間(光が漏れる程度)が生じます。
- ・製品の構造上、完全な防水ではありません。部材の隙間から水が入ることがあります。
- ・製品の特性・構造上、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合があります。
- ・運搬等により塗装面に傷がつくことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。
- ・雨音や熱収縮による金属製品特有の音鳴りがする場合があります。
- ・巻き取り式シャッターは構造上正常な使用下でも巻き取り音や接触部分に傷が生じます。(発生状況は設置環境により左右されます。)
- ・シャッター全閉時にシャッターとシャッターカバーの間に隙間ができますが、シャッター自重によるもので耐久性等に問題ありません。

ほこり・雨水の浸入をご心配される場合は、軽減対策としてシャッターケースの取付けをおすすめします。
右記QRコードよりリモコンシャッターの特性動画を確認できます。仕様は各掲載ページをご覧ください。



10 設置地域について

お住まいの地域の積雪状況に応じて一般型、多雪型、豪雪型からお選びください。

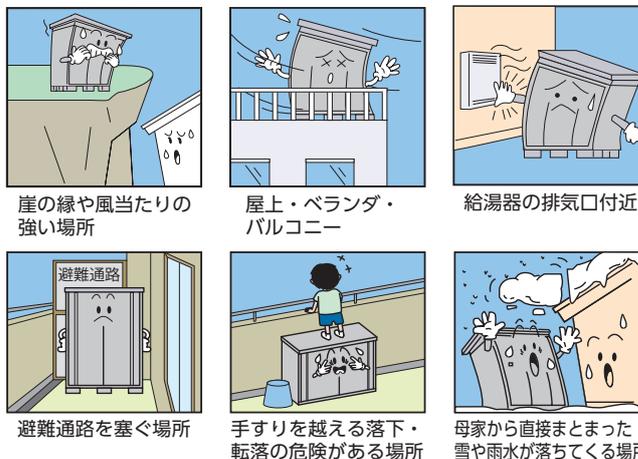


イラストの積雪強度は一例です。積雪高さは、あくまで目安であり、雪の比重や環境により変化しますので早めに雪下ろしをしてください。
積雪荷重：一般型1cmあたり20N/m² 多雪・豪雪型1cmあたり30N/m²

11 設置場所の制限

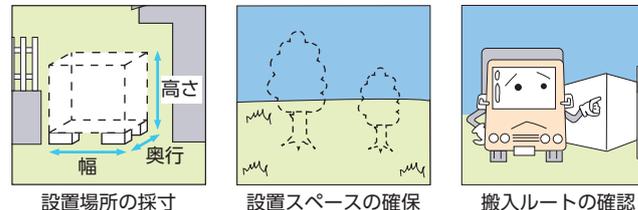
▲安全の確認ができない場所へは、設置しないでください。

下記の場所には設置しないでください。
下記以外にも物置から雪や雨水が隣地に落ちる場所や、日照や風通しを悪くする場所への設置はトラブルの原因となるのでご注意ください。



12 設置場所・搬入について

- ・設置場所の幅・奥行・高さを正確に測ってください。基礎ブロックの高さや屋根の出幅、転倒防止工事のスペース、収納物の出し入れ等も考慮してください。
- ・設置前に設置スペースを確保してください。
- ・シャッタータイプは機種により開口部脇にシャッター取付けのためのスペースが必要となります。
- ・階上げ等の手運びが必要な場合はあらかじめ販売店にご相談ください。
- ・ガレージや大型、連棟物置等は4t車以上の搬入となるため、道路の幅員・通行規制等をご確認ください。



13 整地・基礎について

- ・設置前に必ず整地や地固めを行ってください。
- ・強風地、軟弱地盤など実情に合わせた基礎施工を行ってください。(軟弱な地盤は重量物収納による物置の傾きの原因となります。)
- ・寒冷地や積雪地域は地盤の凍結(凍上)により不陸が生じ、扉の開閉に支障をきたす場合がありますので、地域の実情に合わせた基礎施工を行ってください。